



中野区立緑野中学校 学校だより

探求・創造・共生

令和5年12月4日(月) 発行 第7号

バタフライ効果とは

校長 飯島 博之

今年もあと一か月となりました。地域・保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に御協力いただき、ありがとうございます。12月になり3者面談や3年生の面接練習も始まりました。現在、3年生は進路決定に向けて全力で取り組んでいるところです。自分の適性や興味・関心、将来の夢や希望などを総合的に考えて選択してほしいと思います。

さて、1972年、米国の気象学者のエドワード・ローレンツは、「ブラジルで蝶(バタフライ)が羽ばたくと、テキサス(米国)で竜巻が発生する」かもしれないという意味の発言をしました。

これは「バタフライ効果」というもので、「非常に小さな出来事が、予想もできない大きな出来事につながる」ことを示しています。

詳しくは、ブラジルで一羽の蝶が羽ばたく→小鹿がその動きに興味をもち、何度も飛び跳ねる→ライオンがその様子に気付き、小鹿を狙って近づく→ライオンに気付いた鹿の群れが逃げ惑う→それが大きな風となる→その風が海に向かい上昇気流となる→結果として竜巻が発生する。というつながりです。

実際にこのような現象が起きたわけではなく、気象予報モデル(大気の動きなどをシミュレートして、天気を予測する)を研究していたローレンツが、コンピュータに最初に入力したデータのわずかな誤差が、時間の経過とともに天気予報の結果に大きな影響を与えることを例えたものです。

日常生活でいえば、普通では、気にしなくていいような事が、時間の経過とともに大きな事に発展するようなことです。

学習に例えると、「今日は、勉強しなくていいや」→「今日の勉強は明日やればいいや」→「たくさんやるのが溜まったな」→「もう勉強やめた」となります。軽く「勉強しなくていいや」と考えた行動が、やがて、勉強をしなくなるまでに発展することもあります。

もし、最初に、「1日だけ勉強がんばろう」と考えれば、多分、次の日も同じように考えられるはずですが、最初の選択が、後で大きく影響してきます。今、蝶が羽ばたくように、ほんの少し行動を起こすと、将来すごいことが起きるかもしれません。

小さな事でも、前向きに、失敗を恐れずにチャレンジしてください。



11月3日(土) 中野区立中学校連合文化発表会

文化の日に中野区立中学校連合文化発表会が、なかのZEROホールで行われました。区内の中学校の吹奏楽、合唱、和太鼓、演劇、英語のスピーチ、理科の発表会がありました。

緑野中は、吹奏楽と理科の発表に参加しました。



理科「鉄の錆び方」2年



吹奏楽部

11月11日(土) 学校公開・合唱発表会

学校公開の日に、1,2年生の合唱発表会を行いました。合唱コンクールで歌えなかった分、大きな声で、きれいな合唱を披露してくれました。



11月11日(土) セーフティ教室

セーフティ教室は、講師のLINE みらい財団 井上 未央 先生から、オンラインで、インターネットやスマートフォンの安全な利用について学びました。学校でも、SNSに関するトラブルが発生することがあります。誰もが、気持ちよく、インターネットやSNSを使える環境をつくってほしいと思います。



11月20日（月）～22日（水）

2年生職業体験

2年生は、3日間の職場体験を行いました。体験先は、警察、消防署、区役所、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、個人商店、ファーストフード店、図書館、保育園、小学校、クリニック、高齢者施設など多岐にわたりました。様々な経験をして、ひとまわり成長したようです。



11月24日（金）～25日（土）

1年生イングリッシュキャンプ

1年生は、軽井沢少年自然の家で、1泊2日のイングリッシュキャンプを行いました。これは今年度からはじまったもので、中野区の区立中学校の1年生が、英語によるコミュニケーションの楽しさを味わい、英語の学習への興味・関心を高めることを目的として実施されています。ALTとクイズやゲームをしたり、スピーキングの発表会をしたり、英語漬けの2日間を過ごしました。

